



原田ゼミナール

フィールドワークによる 河川環境の保全についての研究



～河川環境について～

現在、世界的に海洋ごみ、いわゆるプラスチックごみが社会問題となっています。

これらのゴミはマイクロプラスチックとなり、海洋に漂い、環境汚染、生態系の破壊、海洋生物の誤飲による死亡事例、プラスチックを誤飲し汚染された魚を食べることによる健康被害の可能性などが問題となっております。

原田ゼミナールでは、これらの問題と向き合い河川環境の保全やプラスチックごみの問題について学んでいきます。



動画



動画QRコード

<https://www.youtube.com/watch?v=gTXqjd7oF8o>

～コロナ禍での活動～

コロナ禍では密になるため、ゼミのメンバーで集まることができませんでしたが、ZOOMなどを用いてオンラインで話し合い、個人で活動を行い各学年ごとに分かれ班を作り、活動報告を行いました。

その際、『海辺のごみ見つけ！』全国水辺調査を用いて基準を統一し、まとめを行った。

(<https://kawagomi.jp/mikke/>) 令和2年 11月9日 検索

～保津川での活動について～

毎年、保津川では地域のボランティアの方々とともに、天然アユの復活プロジェクトなどの活動を行っています。しかし、今年は、コロナ禍の影響もあり、限られた活動しか行えませんでした。

来年度に向け、ゼミで学び活動につなげていきます。



イタセンバラ

写真



動画

動画QRコード



<https://www.youtube.com/watch?v=zJy1UrOm1Is>

～庭窪・海老江での活動について～

毎年、淀川にある庭窪、海老江で活動しています。海老江ではゴミ回収、庭窪ではゴミ回収、生体系調査、イタセンバラの保全活動を行っているが、今年はコロナ禍ということもあり、例年ほどの活動を行うことはできませんでした。

活動としては、ボランティアの方々とともに、河川のゴミ回収、実際に川へと入り外来種、在来種かを判定する生態系の調査、イタセンバラの保全活動などを限られて時間、人数で行いました。環境改善や外来種撲滅運動を来年以降も続けていきたいと思っています。